〔課税証明書サンプル〕

〔良い例〕

令和7年度市県民税課税証明書

住 所 <u>○○県○○市○○○</u>					
氏名 <u>青山</u> 太郎			昭和〇〇年〇〇月〇〇日		性別男
年度 税目 課税標準額 令和七年度 市県民税 総合 ¥864,305 分離 ¥0) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	民税 均等割 ,940 ¥27,960	県 民 所得割 ¥3,500	均等割 ¥2,500	年 額 税 扶養人数が記載さ れていることを確認
◆		所 🤅	得控除の	内 訳	してください。
<u>令和6年分</u> 所得の内訳 種類 金額 収入 ¥4,800,000 内専従 ¥ 0 所得 ¥3,300,000 公的年金収入 ¥0 雑(年金) ¥0	社会保険料 生命保険料 地震保険料 医療費 ※以下余白※	¥697, 770 ¥70, 000 ¥6, 175 ¥11, 750	配偶者控除 扶養控除	一般 1 老人 一般 特定 2 老人 同老 16歳未満 1	¥330,000 ¥1,100,000
文章業所得 ¥0 不動産所得 ¥0 ※以下空白※			障碍者 本人 控除 扶養	他障	¥0
※ ○ 「全日本			基础	* 整控除	¥330,000
			所得控除合計		¥2, 435, 695
	備考				

上記のとおり相違ないことを証明します。
令和七年○○月○○日

○○市長

青山 〇〇〇

公印

【 注意 】収入・所得金額などが"****"等で目隠しされているものは不可。

- ◎ 無収入の場合・・・☆
 - ⇒ 令和6年中に収入がなかった場合は、**収入額が「O**」と明記されていることが必要です。

【収入・所得の計算方法について】

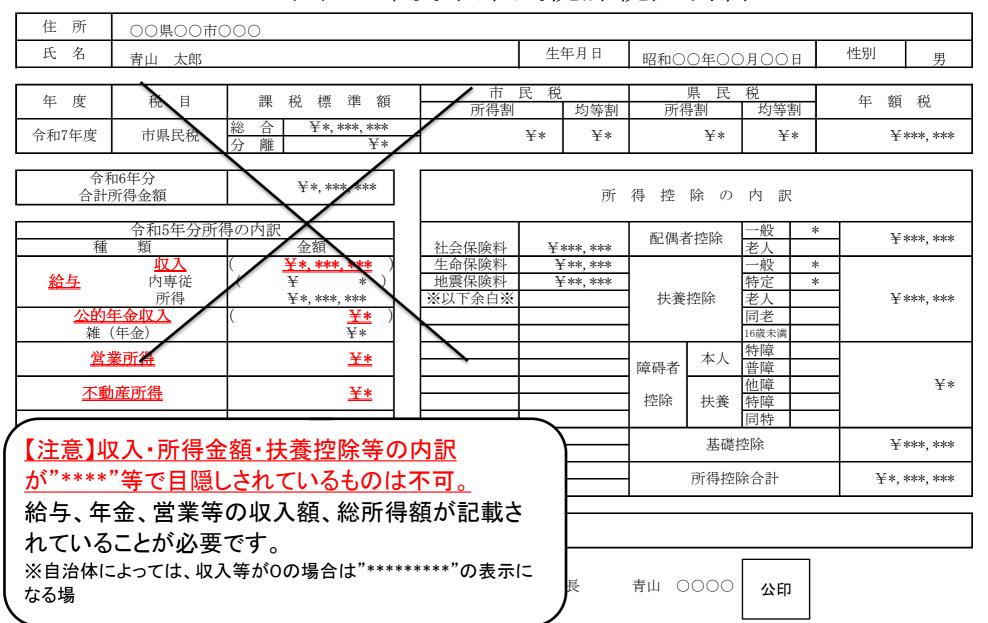
- 父母両方の令和7年度(令和6年分)の課税/非課税証明書を用意してください。
- ※源泉徴収票、市民税・県民税特別徴収税額決定通知書(横に細長い通知書)は不可

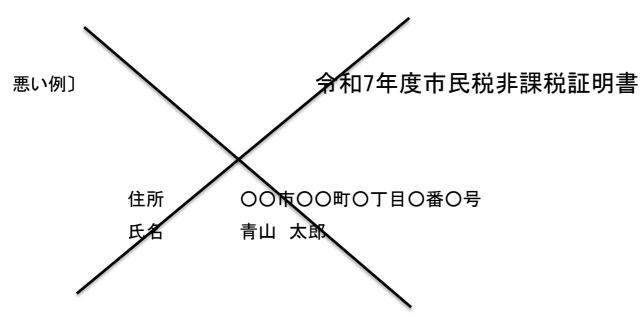
上記の課税証明書の記載部分を参考にご自身の課税証明書をご覧ください。(各市区町村で書式や表記に違いがあります。)

- ◎ 給与・年金収入のみの場合・・・①
 - (給与収入は"支払金額"と記載されている場合もあります。)
 - ⇒ 父親の給与・年金収入と、母親の給与・年金収入の合計が800万円未満。
- ◎ その他、事業所得のみの場合・・・②
 - ※その他の所得とは、営業所得・不動産所得・雑所得も含まれます。(株売買による一時金等は含めません。)
 - ⇒ 父親の所得と、母親の所得の合計が350万円未満。
- ◎ 両方ある場合・・・①+②
 - ⇒合算して総合的に判断します。

「悪い例〕

令和7年度市県民税課税証明書





上記の者は、地方税法第295条の規定により令和7年度は非課税であることを証明します。

令和7年9月30日

【注意】課税・非課税のみの 証明となっているものは不可。

〇〇市長

青山 〇〇〇〇

公印